

# ニューズレター雪氷北信越

No. 44 平成7年7月20日  
(社) 日本雪氷学会北信越支部発行

## 目次

平成7年度支部総会・研究発表会・製品発表検討会報告/研究発表会の報告/平成7年度第2回理事・幹事合同会議報告/見学会・学習会報告/学習会・技術部会・見学会の案内/機関誌/その他

## 報告

### 第8回総会及び研究発表会・製品発表検討会報告

期 日：平成7年5月27日（土）  
場 所：福井県民会館  
参加者：63名（うち総会出席者37名）

総会では、平成6年度事業報告、会計報告案および平成7年度事業計画案、予算案が承認された。また、平成7年度支部理事・監事が選出されるとともに、高見副支部長の他支部への転出に伴い、新副支部長として小林俊一氏（新潟大学積雪地域災害研究センター）の就任が承認された。

総会後、第3回支部授賞式が行われ、須藤伊佐夫・遠藤徹氏が大沼賞、村本健一郎・椎名徹氏及び（株）インテック、ソーラーシステム、株式会社（代表 湯本喜久雄氏）並びに農事組合法人グリーンファーム（代表 理事組合長 橋守氏）が雪氷技術賞、高瀬信忠氏が雪氷功労賞をそれぞれ受賞された。

研究発表会・製品発表検討会では合計30件の発表があり、活発な議論が展開された。

## 研究発表会

### 福井雪害対策研究会研究発表会の報告

福井雪害対策研究会（会長本多義明福井大学工学部教授）主催・（社）日本雪氷学会北信越支部後援により、同研究会の総会の後開催された。

日 時：平成7年6月30日（金）15:00～17:00  
場 所：福井大学工学部環境設計工学科 G中1講義室

内 容：(1)積雪の平均粒子径測定Ⅱと湿り雪の観測  
福井大学教育学部 伊藤文雄  
(2)ニューラルネットワークによる積雪シミュレーション  
福井工業大学大学院 辻岡珠美  
(3)橋梁道路の凍結現象  
福井大学工学部 福原輝幸

参加者：18名

（杉森理事 記）

役員

平成7年度(社)日本雪氷学会北信越支部三役・理事名簿  
(平成7年7月13日現在)

支部長 早川典生 長岡技術科学大学建設系教授  
副支部長 高瀬信忠 金沢大学工学部教授  
幹事長 小森俊一 新潟大学積雪地域災害研究センター教授  
小森俊一 新潟大学積雪地域災害研究センター教授  
小森俊一 新潟大学積雪地域災害研究センター教授

理事

阿部勉 越前ロートメンテナンス(株)顧問  
梅村晃 長岡技術科学大学機械系教授  
藤治郎 新潟大学農学部教授  
遠藤八十二 新潟大学農学部教授  
河田脩 新潟大学農学部教授  
楠重俊 新潟大学農学部教授  
小林一詢 新潟大学農学部教授  
小坂美秀 新潟大学農学部教授  
佐藤和秀 新潟大学農学部教授  
如沢康博 新潟大学農学部教授  
杉森正義 新潟大学農学部教授  
鈴須哲男 新潟大学農学部教授  
高瀬信忠 新潟大学農学部教授  
高橋雄 新潟大学農学部教授  
田村盛彰 新潟大学農学部教授  
对馬勝年 新潟大学農学部教授  
中新隆三 新潟大学農学部教授  
早川典生 新潟大学農学部教授  
前田司 新潟大学農学部教授  
町田誠 新潟大学農学部教授  
村山實 新潟大学農学部教授  
湯本喜久 新潟大学農学部教授  
横山宏 新潟大学農学部教授  
若井武 新潟大学農学部教授  
和田 新潟大学農学部教授

監事

丸山敏介 新潟電機(株)社長  
山口肇 長岡工業高等専門学校教授

報告

平成7年度第2回理事・幹事合同会議報告

平成7年7月13日(木)15時40分より、長岡技術科学大学建設系会議室において、本年度第2回理事・幹事合同会議が開催された。早川支部長の挨拶及び理事・幹事の自己紹介のあと、平成7年度～8年度の本支部の顧問・評議員の事務局案が審議され、承認された。また、平成7年度の支部活動及び、その役割分担について事務局案が審議され、承認された。

## 「雪形ウォッチング」の報告

日会さ  
 4習谷  
 1学萩  
 ～名の  
 土内務  
 （事務  
 名会事  
 36学  
 1は  
 月はら  
 5者か  
 は、加  
 参東  
 会た、  
 見れさ  
 とわ川  
 行石  
 習でら  
 学程か  
 の日大  
 グの北  
 ン日は  
 チ2く  
 ッ泊遠  
 オ1が  
 うので  
 形）の  
 （雪日  
 ）の  
 集仰ゆ  
 遠で果  
 がい  
 な道の  
 の手て  
 「町か  
 」がね  
 小ま武  
 はれい  
 え速氏  
 雲左っ  
 の大り  
 岩れを  
 は込「  
 でわ  
 見高男  
 がの撮  
 岳道辺  
 嫁あ間  
 にめの  
 気思  
 く。行  
 岳岳を  
 ケ県た  
 「。合  
 頃ほ岳  
 天と  
 全た淵  
 念念真  
 爺、ぎ  
 」たの  
 たに竜  
 たた  
 でっ田  
 常常写  
 、ら過  
 りれ雲  
 い千五  
 しれ  
 霧かる  
 の。り  
 はがを  
 とま、  
 着欄。  
 適さ  
 い向あ  
 形たき  
 後な湖  
 わ望ら  
 にのた  
 は喫  
 濃にも  
 ドれし  
 午見木  
 にかが  
 橋橋っ  
 に満  
 は州で  
 ヅまと  
 。を背  
 「形な  
 大、返  
 影に  
 山信家  
 ミ望ひ  
 た」。  
 ら雪し  
 馬がり  
 撮分  
 高路真  
 うが。  
 ヅシ後  
 か各認  
 白た振  
 、十  
 妙一写  
 ビ」た  
 なシ学  
 右の確  
 ・いを  
 しは  
 てで、  
 鏝々と  
 「見、  
 」を地  
 て形た  
 さ  
 曇し家は  
 能あ食  
 とをし  
 馬前  
 的れ雪  
 っ白  
 の乗究ら  
 万で昼  
 館れき  
 名目さ  
 のお面  
 く分析か  
 「中での  
 ル物か  
 代い最  
 閉ざ日  
 での  
 に形館と  
 の堂ツ  
 博か代  
 い最閉  
 ざ日  
 での  
 車雪念  
 の、記  
 坊らの  
 山見え  
 「互。に  
 た残ン  
 の、念  
 が隣槍  
 町がんと  
 めい日の  
 ヲッ  
 の時々  
 かり泉  
 のん気  
 5るた  
 常な島  
 大峰さ  
 何納厚  
 今たッ  
 のッ  
 ま神つ  
 氏・途  
 研はの  
 過下あ  
 、残見  
 とた馬  
 きれ真  
 山でか  
 形  
 6ま  
 始高に  
 両市。形  
 話会時  
 ででは  
 を」し  
 白まあ  
 写、真  
 な雪  
 8C出  
 岳館ん  
 上に種  
 ）をり  
 写え、  
 朝イす  
 をヶ念  
 さ北間  
 「馬形  
 なの見  
 がた  
 科は顔  
 蝶記爺  
 をの」  
 き雪と  
 形がた  
 った  
 豊館ら  
 る、き  
 線雲馬  
 援て様  
 雪」っ  
 路記上  
 にか種  
 明ら「  
 「ら雨  
 れ田な  
 た。

(遠藤幹事長 記)

学習会・技術部会

「新潟地区学習会」及び  
「雪崩の力学研究技術部会（最終回）」のお知らせ

研究を所  
合試験  
学会試  
力の渦  
の回新  
崩終所  
雪最究  
たよ研  
しい木  
足よ土  
発いは  
に下  
1992年  
ので者  
にの待  
した提  
にし題  
部ま話  
支ねの  
越重回  
信を終  
北数を  
学会回  
学とす  
氷月ま  
雪年い  
日本も  
（社）  
日とも  
（社）  
技開の

和

日時：平成7年7月28日（金）15:30～

場所：長岡雪氷防災実験研究所 会議室

内容：話題提供 15:30～16:30

「雪崩防災の計画と実務の課題」

土木研究所新潟試験所

藤沢和範

## 見学会

### 富山・石川地区見学会のお知らせ 「手取川流域（白山砂防・手取川ダム）」見学会

日時：平成7年8月9日（水）

日程：JR金沢駅——白山砂防（甚之助谷・別当谷などの）——  
（9:30出発）（11:20-11:40）（地すべりおよび砂防ダム群）

一ノ瀬（永井旅館で昼食）——百万貫の岩——白峰床固群（自然に配慮）  
（12:00-12:40）（12:50-13:00）（13:10-13:20）（した流路工）

——白山民族資料館——手取川ダム——JR金沢駅——金沢大学工学部  
（13:30-14:00）（14:20-15:00）（16:30着）

集合・解散：JR金沢駅 9:30 ・ 16:30

定員：20名（世話役の対馬、高瀬を除く）（先着順）

参加費：無料ですが、昼食は各自負担となり、希望者は永井旅館の方で  
金.1500円で準備しておきますので、お知らせ下さい。

その他：(1)雨天の場合、見学コースの変更、短縮の可能性等があります。  
なお、服装は普通通りで結構ですが、雨具等は各自で御準備  
願います。

(2)JR金沢駅の集合場所は西口ですが、改札口を出て左側に進  
行となります。

申し込み：〒930 富山市五福3190 (TEL.0764-41-1271)  
富山大学理学部 対馬勝年 または、

〒920 金沢市小立野2-40-20 (TEL.0762-34-4606)  
金沢大学工学部 高瀬信忠

あてに、「氏名、現住所、勤務先、昼食希望の有無」を御記入の上、  
葉書でお申し込み下さい（7月28日（金）必着締切り）。なお、建設省金沢  
工事事務所の御厚意と御案内でマイクロバスをお借りして見学しますが、  
案内パンフレット等は当日配布される予定です。

## 学習会

### 新潟地区学習会のお知らせ

日時：平成7年9月8日（金）15:00～17:00

場所：長岡技術科学大学 機械建設棟8階 会議室

講師：小池正子（長岡技術科学大学 建設系）

話題：樹種のちがいによる雪面熱収支特性について

問合せ先：早川典生（長岡技術科学大学）

TEL. 0258-46-6000 FAX. 0258-47-0019

## お知らせ

### ADEOS-II 搭載 GLI, AMSR の研究公募について

宇宙開発事業団では、1999年打ち上げ予定の環境観測衛星ADEOS-IIに搭載する宇宙開発事業団のコアセンサ、グローバル・イメージャ（GLI）及び高性能マイクロ波放射計（AMSR）に関するRA（Research Announcement）を行い、標準データセット作成のためのアルゴリズム開発を行う研究者を国内外の個人あるいは団体を対象に広く募集する予定です。地球環境観測へのリモートセンシング技術利用に対し、創造的かつ建設的な研究の応募を期待します。

#### 1. センサ概要

GLIは、陸、海といった地球表面あるいは雲等からの太陽反射光あるいは赤外放射光を多波長で観測することで、生物に関する様々な量（クロロフィル色素、有機物、植生など）や温度、雪氷、雲の分布・分類等を高精度に測定するセンサであり、AMSRは、地表及び大気から自然に放射される微弱なマイクロ波をマルチバンドで受信することにより、主として水に関する様々な量（積算水蒸気量、降水量、海面水温、海上主風、海水温など）の観測を行うセンサです。GLIは全地球規模の炭素循環や気候変動、AMSRは全地球規模の水循環とエネルギー循環の理解に寄与するためのデータの取得を目的としています。

#### 2. 応募期間

RAの発出は本年7月～8月、プロポーザルの締め切りを11月末に予定しています。

#### 3. お問い合わせ先

東京都港区六本木1-9-9 六本木ファーストビル

宇宙開発事業団地球観測データ解析研究センター

RA事務局 担当：塚本、大木 TEL. 03-5561-8771, 8769

FAX. 03-5573-4248

E-mail: ADEOS2RA@eorc.nasda.go.jp

解析研究 担当：上杉 TEL. 03-3224-7055

研究推進 担当：小川 TEL. 03-3224-7043

## 学習会

### 富山地区学習会のお知らせ

衛星リモートセンシングによるオホーツク海の海水の変動  
- 2035年オホーツク海に海水はあるだろうか？ -

衛星リモートセンシングによる海水と大気の相互作用の研究、及びそれに基づいた、温暖化などの気候変動にともなうオホーツクの海水の将来の姿などを紹介します。

日時：平成7年9月13日（水）18:00～20:00

場所：富山大学理学部地球科学科

講師：西尾文彦氏（北海道教育大学釧路校）

問合先：川田（富山大学理学部地球科学科） TEL. 0764-41-1271

FAX. 0764-41-2972

石坂（富山市科学文化センター） TEL. 0764-91-2123

FAX. 0764-21-5950

## 学習会

### 富山地区学習会のお知らせ 吹雪をもたらす雪雲のレーダー観測

最新鋭のドップラーレーダーなどの観測によって明らかにされつつある、吹雪などの激しい気象をもたらす雪雲の構造や発達過程などの動態を紹介します。

日時：平成7年9月21日（木）18:00～20:00

場所：富山市科学文化センター 多目的教室

講師：上田 博氏（北海道大学理学部）

問合先：対馬（富山大学理学部地球科学科）

TEL. 0764-41-1271

FAX. 0764-41-2972)

石坂（富山市科学文化センター

TEL. 0764-91-2123

FAX. 0764-21-5950)

## 話題

### 雪虫いろいろ

雪虫には、その発生時期により、大きく分けて2種類あることをみなさんご存じでしょうか。

- (1) 春の訪れを告げる虫  
（早春雪国の雪上に現れる各種の昆虫）
- (2) 冬の訪れを告げる虫  
（雪がそろそろ降りそうな頃現れる昆虫）

(1) は新潟県などの雪国で3月頃発生するもので、例としては、カワゲラ類、トビムシ類、ユスリカ類、ガガンボ類、ガガンボダマシ類などが挙げられる。

(2) は各地で用いられる方言で場所によって指す虫が異なる。例えば、仙台などでは「ワタアブラムシ類」を指すことが多い。この虫は関東では「シラッコ」とか「オーワタ」と呼ばれる。また、ところによってはガガンボダマシやユスリカの一種が軒下などで上下に群飛するのを指すこともある。

\*引用文献：昆虫の事典（東京堂出版）

（小林幹事 記）

## 機関誌

### 「雪氷北信越15号」発行のお知らせと

#### 自由投稿文・広告の募集

北信越支部編集委員会では、年末に「雪氷北信越15号」の発行を予定しております。つきましては、下記の通り、随筆・評論的な自由投稿文を募集致しますので、奮って御投稿下さい。また、同誌に掲載する広告を募集致します。「雪氷北信越6号」最終頁を御参照の上、御連絡下さい。

1. 字数：3000字程度（用紙は自由）

2. 問合先：〒940 新潟県長岡市栖吉町前山187-16

長岡雪氷防災実験研究所 小林俊市（TEL. 0258-35-7522）

## その他

### 「ニューズレター雪氷北信越」について

ニューズレターに関するお問い合わせは  
長岡雪氷防災実験研究所 小林俊市

TEL. 0258-35-7522

FAX. 0258-35-0020

までお願いします。